

2026年1月7日

消化器内科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「 橋骨アクセス腹部血管造影検査における大動脈弓の形態と通過時間の関連に関する観察研究 」への協力のお願い

消化器内科では、下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象 : 2024年7月1日から2025年12月31日の間に、当科において、橋骨アクセス腹部血管造影検査を受けられた18歳以上の方

研究期間 : 研究機関の長の研究実施許可日～2027年12月31日

研究目的・利用方法 :

大腿アクセス腹部血管造影検査では術後の穿刺部位の圧迫や長時間安静を要する問題がありました。橋骨アクセスは患者満足度を向上させ、近年普及してきています。しかし、大動脈弓の通過に難渋する症例を経験することがあります。大動脈弓の形態と大動脈弓の通過時間との関連を明らかにすることを目的とします。積極的に橋骨アクセスを選択すべき症例を術前に評価可能となり、患者負担や合併症の軽減につながることが期待されます。

研究に用いる試料・情報の項目 :

以下の項目について、診療録より取得します。これらはすべて日常診療で実施された項目です。

治療等開始前の検査・評価項目

患者背景 : 年齢、性別、高血圧症・糖尿病・脂質異常症の有無、虚血性心疾患・脳梗塞の既往の有無、飲酒歴、喫煙歴

一般身体所見 : 身長、体重、BMI

血液検査 : 白血球数、ヘモグロビン、血小板数

生化学検査 : 総蛋白、アルブミン、AST、ALT、総ビリルビン、ALP、γGTP、アンモニア、BUN、Cr、Na、K、Cl、BS、HbA1c、LDL-C、HDL-C、TG、AFP、PIVKA-II、PT

大動脈弓の通過時間 : 左橋骨動脈シースへの造影カテーテル挿入時から大動脈弓の通過に要した時間

大動脈弓の形態 : CT画像

自他覚症状

合併症

研究に用いる情報の利用を開始する予定日 : 2026年1月9日

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはございませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 消化器内科
氏名：清水雅仁

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 消化器内科
電話番号：058-230-6308
氏名：相羽優志

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係
〒501-1194
岐阜県岐阜市柳戸1番1
Tel：058-230-6059
E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp